

---

令和元年度「結婚等に関する県民意識調査」

報 告 書

---

令和元年9月

富 山 県

## 報告書の見方

- 比率はすべて百分率で表示し、小数第 2 位を四捨五入して算出しているため、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しない場合がある。
- 図表中に「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。
- 図表中の N は各質問に対する回答者数で、比率算出の基数である。
- 比較に使用した前回調査は、平成 29 年度「結婚等に関する県民意識調査」である。

# 目次

---

I 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的	
2. 調査の概要	
3. 調査の項目	
4. 回答者の概要	
II 調査結果の概要 .....	11
1. 結婚の価値観・時期 .....	11
2. 結婚の条件 .....	15
3. 出会いの環境 .....	16
4. 現在結婚していない理由 .....	18
5. 異性交際・結婚生活への不安 .....	20
6. 未婚化・晩婚化の要因 .....	22
7. 結婚支援への考え・要望 .....	23
8. 結婚と仕事 .....	26
9. 子どもの人数 .....	27
10. 第一子誕生の時期 .....	31
11. 出産後の住まい .....	32
12. 子育てにやさしい社会にするために必要な取り組み .....	33
13. 国や自治体の少子化対策 .....	35
14. 少子化対策への考え・要望 .....	37
15. 自由意見 .....	38
16. 希望出生率について .....	40
III 使用した調査票 .....	41



## I 調査の概要

---



## 1. 調査の目的

県内在住の20代から30代の方を対象に結婚や出産についての率直な思いや意識を調査し、今後の県の結婚支援施策や少子化対策に役立てることを目的とする。

## 2. 調査の概要

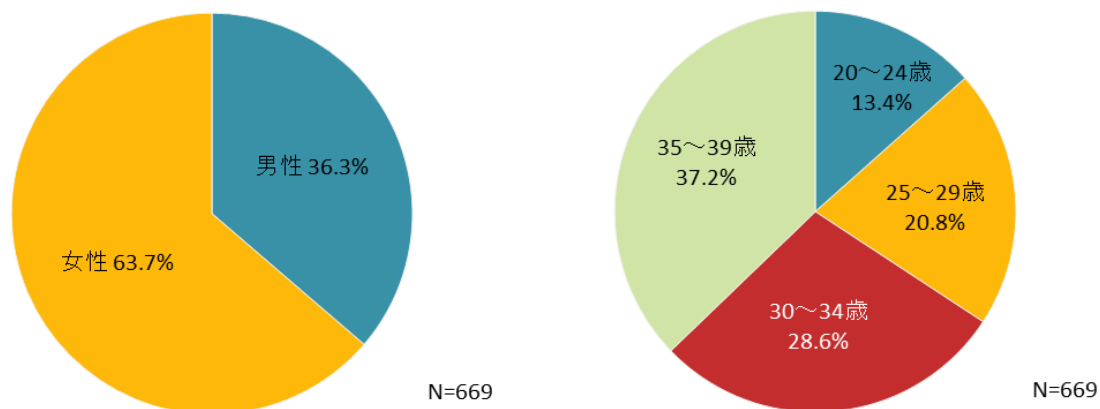
- (1) 調査対象 県内在住の20代から30代の男女 2,000人
- (2) 調査期間 令和元年6月21日～7月5日
- (3) 調査方法 郵送返送方式、Webによる調査
- (4) 調査機関 一般財団法人 北陸経済研究所
- (5) 回収状況 標本数 2,000人  
回収数 669人（うちWEB回答は219人）  
回収率 33.5%

## 3. 調査項目

- (1) 結婚の価値観・時期
- (2) 結婚の条件
- (3) 出会いの環境
- (4) 現在結婚していない理由
- (5) 異性交際・結婚生活への不安
- (6) 未婚化・晩婚化の原因
- (7) 結婚支援への考え・要望
- (8) 結婚と仕事
- (9) 子どもの人数
- (10) 第一子誕生の時期
- (11) 出産後の住まい
- (12) 子育てにやさしい社会にするために必要な取組み
- (13) 国や自治体の少子化対策
- (14) 少子化対策への考え・要望
- (15) 自由意見

## 4. 回答者の概要

### 【性別と年齢】



(上段:人 下段:%)

	合計	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	無回答
全体	669	88	137	188	245	11
	100.0	13.2	20.5	28.1	36.6	1.6
男性	243	32	51	65	89	6
	100.0	13.2	21.0	26.7	36.6	2.5
女性	426	56	86	123	156	5
	100.0	13.1	20.2	28.9	36.6	1.2

### 【居住地】

	人	%
富山市(旧富山市)	233	34.8
富山市(旧大沢野町、旧大山町、旧八尾町、旧婦中町、旧山田村、旧細入村)	64	9.6
高岡市	90	13.5
魚津市	22	3.3
氷見市	24	3.6
滑川市	22	3.3
黒部市	29	4.3
砺波市	31	4.6
小矢部市	16	2.4
南砺市	29	4.3
射水市	66	9.9
舟橋村	4	0.6
上市町	9	1.3
立山町	11	1.6
入善町	13	1.9
朝日町	6	0.9
合計	669	100







































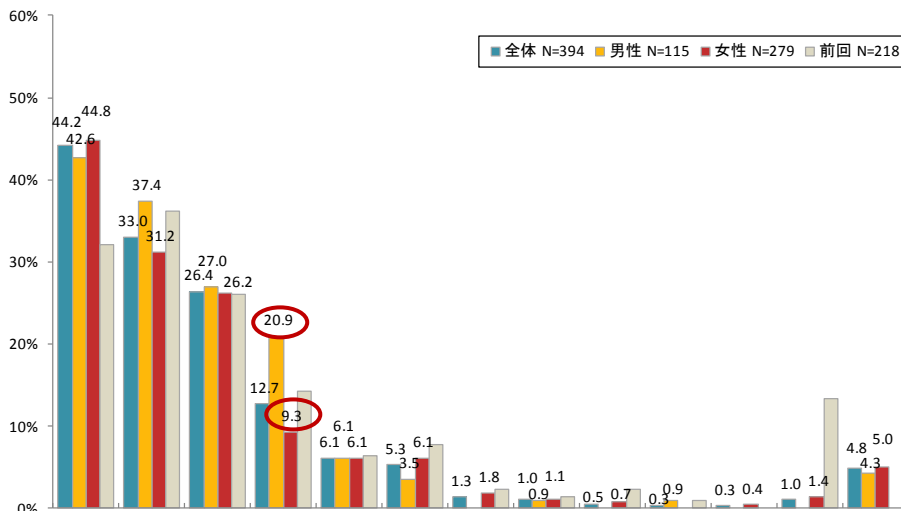
問5 配偶者と交際を始める前、交際相手に出会うことを期待してどのようなことを行っていましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（結婚経験ありの人：複数回答）

全体では、「特に何もしていない」が44.2%と最も高く、次いで「合コンやパーティーに行った」が33.0%、「友人や兄弟（姉妹）に紹介を頼んだ」が26.4%となっている。

性別の違いをみると、男女間の差が大きかったのは「職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ」で、男性の20.9%に対し、女性は9.3%となっている。

年齢別では、20代では半数以上が「特に何もしていない」と回答している。出合いを期待して行ったことでは、20～24歳、25～29歳、30～34歳では「友人や兄弟（姉妹）に紹介を頼んだ」が、35～39歳では「合コンやパーティーに行った」が高くなっている。また、20代は30代に比べて「インターネットを利用した」割合が高くなっている。

前回調査で最も高かった「合コンやパーティーに行った」（36.2%）と、次点の「特に何もしていない」（32.1%）が今回調査では順位が逆転している。



	合計（人）	特に何もしていない	合コンやパーティーに行った	友人や兄弟（姉妹）に紹介を頼んだ	職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ	インターネットを利用した	趣味のサークルに入った	親や親戚・上司に紹介を頼んだ	お見合いをした	民間の結婚相談所を利用した	スキルの学校に通った	地方自治体やNPOなどの団体の結婚相談所を利用した	その他	無回答	
全体	394	44.2	33.0	26.4	12.7	6.1	5.3	1.3	1.0	0.5	0.3	0.3	1.0	4.8	
（性別）															
男性	115	42.6	37.4	27.0	20.9	6.1	3.5	-	0.9	-	0.9	-	-	4.3	
女性	279	44.8	31.2	26.2	9.3	6.1	6.1	1.8	1.1	0.7	-	0.4	1.4	5.0	
（年齢別）															
20～24歳	6	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	
25～29歳	58	53.4	19.0	24.1	10.3	12.1	5.2	-	-	-	-	-	-	3.4	
30～34歳	133	39.1	34.6	37.6	13.5	5.3	9.0	1.5	0.8	0.8	-	-	0.8	6.0	
35～39歳	190	44.7	36.8	19.5	12.6	4.7	3.2	1.1	1.1	0.5	0.5	0.5	1.6	4.7	
（結婚経験別）															
既婚	374	43.6	33.4	26.5	12.8	6.4	5.3	1.1	1.1	0.5	0.3	0.3	1.1	5.1	
死別・離別	20	55.0	25.0	25.0	10.0	-	5.0	5.0	-	-	-	-	-	-	
（参考）															
前回（H29）	218	32.1	36.2	26.1	14.2	6.4	7.8	2.3	1.4	2.3	0.9	-	13.3	-	

属性別順位 1位 2位

#### 4. 現在結婚していない理由

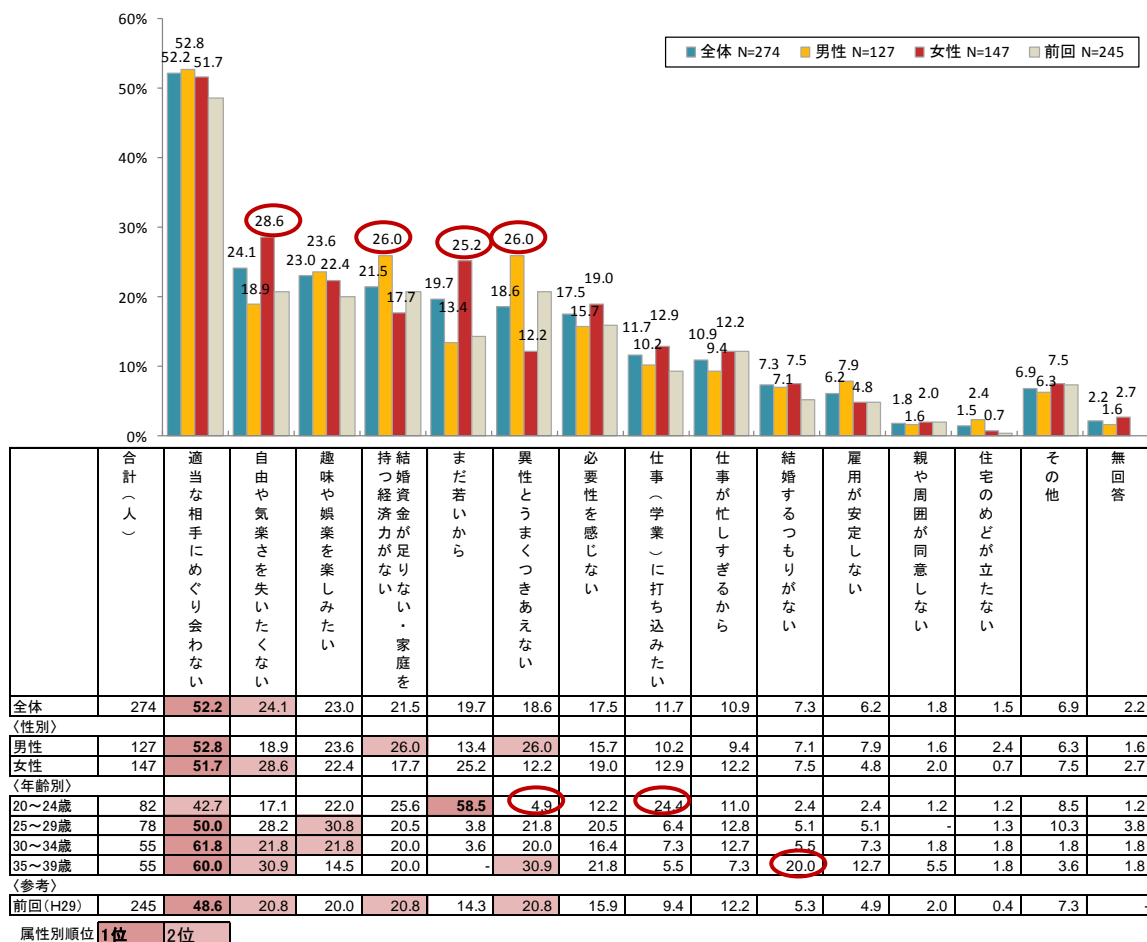
問6-1 現在結婚していない理由を、次の中から3つまで選んでください。

(未婚の人：複数回答3つまで)

全体では「適当な相手にめぐり会わない」が52.2%と最も高くなっており、男女ともに次点以下と大きく差がある。

性別で次点以下をみると、男性は「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」と「異性とうまくつきあえない」が26.0%と高く、女性は「自由さや気楽さを失いたくない」の28.6%、「まだ若いから」の25.2%が高くなっている。

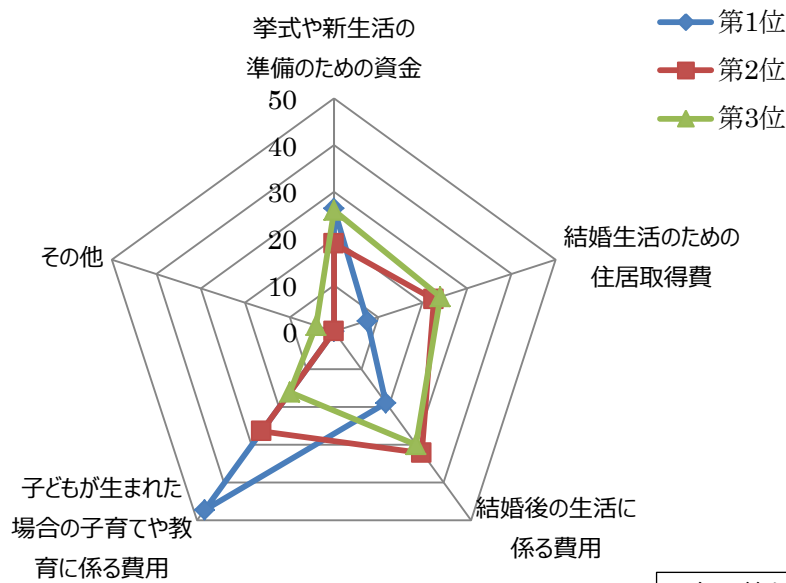
年齢別でみると、20～24歳は「まだ若いから」が58.5%と最も高く、他の年齢に比べてその割合が突出している。ほかにも、「異性とうまくつきあえない」(4.9%)、「仕事(学業)に打ち込みたい」(24.4%)の項目で他の年齢と考え方に差がみられた。また、35～39歳は「結婚するつもりがない」が20.0%と他の年齢に比べて割合が高くなっている。



問6-2 結婚や結婚後の生活に係る費用の中で負担が大きいと感じるものは何ですか。負担の大きいものから3つまで選んで、順に番号を記入してください。(未婚の人)

全体で見ると、費用の負担が大きいと感じる第1位では「子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用」(47.2%)、第2位では「結婚後の生活に係る費用」(32.1%)、第3位では「結婚後の生活に係る費用」(30.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

性別での違いをみると、「子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用」を第1位に選んだのは、男性が35.5%に対し、女性は63.6%と28.1ポイントの差がみられる。また、女性では第1位に「結婚生活のための住居取得費」を選んだものはいなかったが、男性では12.9%が選んでいる。



※無回答を除く

	参考 前回 (H29)		
	第1位	第2位	第3位
挙式や新生活の準備のための資金	26.4	18.9	26.0
結婚生活のための住居取得費	7.5	22.6	24.0
結婚後の生活に係る費用	18.9	32.1	30.0
子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用	47.2	26.4	16.0
その他	0.0	0.0	4.0
合計 (人)	53	53	50

※無回答を除く

※無回答を除く

	第1位		第2位		第3位	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
挙式や新生活の準備のための資金	29.0	22.7	22.6	13.6	24.1	28.6
結婚生活のための住居取得費	12.9	-	16.1	31.8	20.7	28.6
結婚後の生活に係る費用	22.6	13.6	32.3	31.8	31.0	28.6
子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用	35.5	63.6	29.0	22.7	20.7	9.5
その他	-	-	-	-	3.4	4.8
合計 (人)	31	22	31	22	29	21

※無回答を除く

## 5. 異性交際・結婚生活への不安

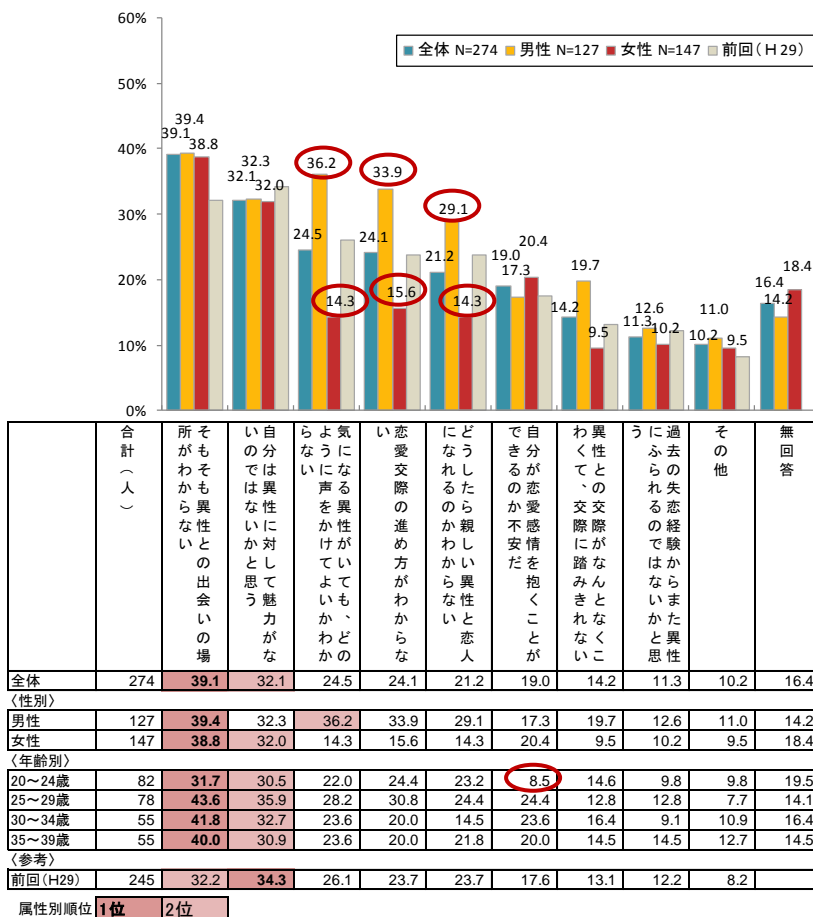
問7 異性と交際する上での不安はありますか。不安がある場合はあてはまるものをすべて選んでください。  
(未婚の人：複数回答)

全体では、「そもそも異性との出会いの場所がわからない」が39.1%と最も高く、次いで「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」が32.1%、「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない」が24.5%となっている。

性別での違いがみられる項目は、「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない」(男性：36.2%、女性：14.3%)、「恋愛交際の進め方がわからない」(男性：33.9%、女性：15.6%)、「どうしたら親しい異性と恋人になれるかわからない」(男性：29.1%、女性：14.3%)で、女性に比べ男性の割合が2倍以上となっている。

年齢別では、20～24歳の比較的若い世代で「自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ」と回答した割合がわずかに8.5%で、恋愛感情についての不安は少ない。

前回調査で最も高かった「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」(34.3%)と、次点の「そもそも異性との出会いの場所がわからない」(32.2%)が今回調査では順位が逆転している。



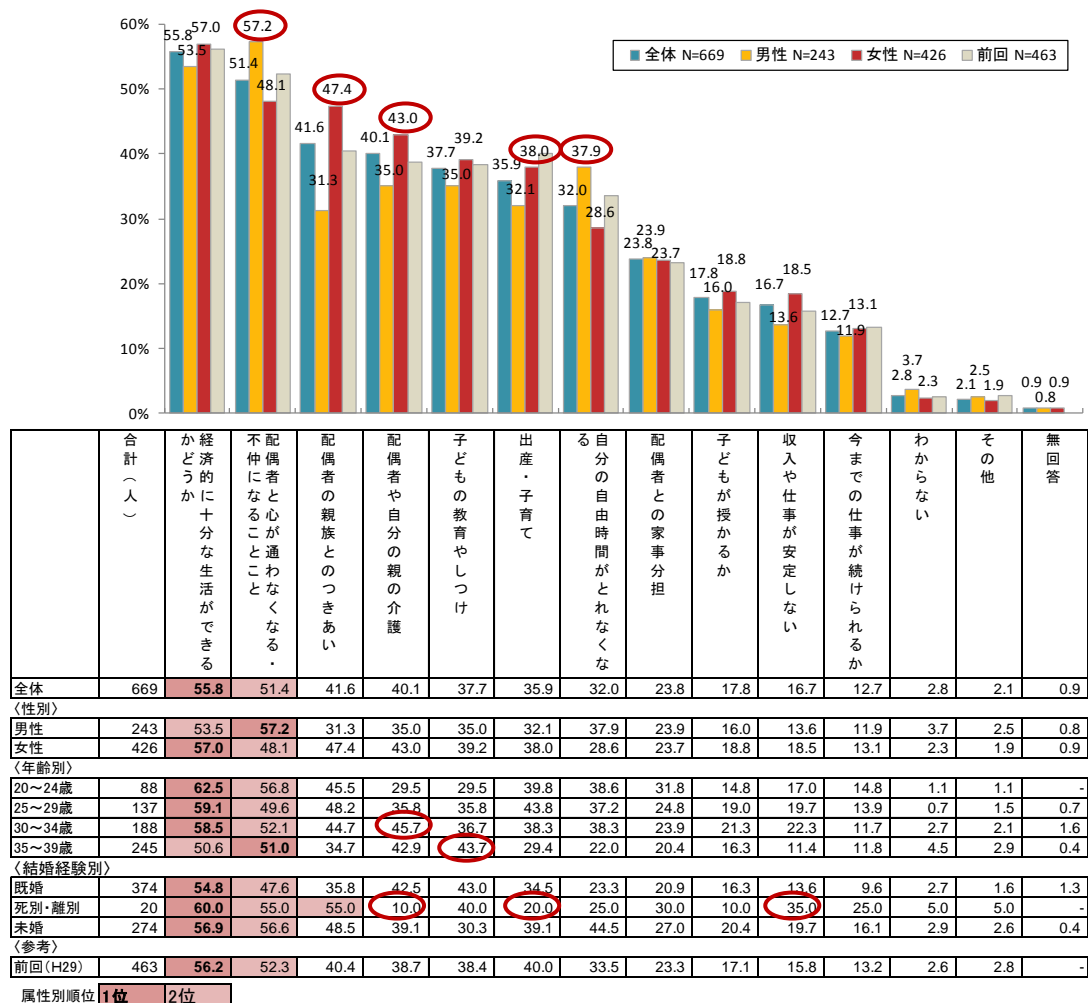
問 8 結婚生活を送っていく上で不安に思っていること(思ったこと)は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。「未婚」の方は、結婚すると仮定してお答えください。(複数回答)

全体では、「経済的に十分な生活ができるかどうか」が 55.8%と最も高く、次いで「配偶者と心が通わなくなる・不仲になること」が 51.4%、「配偶者の親族とのつきあい」が 41.6%となっている。

性別での違いをみると、男性が結婚生活を送っていく上で不安に思う割合が女性よりも高くなった項目は、「配偶者と心が通わなくなる・不仲になること」(男性:57.2%、女性:48.1%)、「自分の自由時間がとれなくなる」(男性:37.9%、女性:28.6%)である。一方、女性の方が男性より不安に思う割合が高くなった項目は、「配偶者の親族とのつきあい」(男性:31.3%、女性:47.4%)、「配偶者や自分の親の介護」(男性:35.0%、女性:43.0%)、「出産・子育て」(男性:32.1%、女性:38.0%)で、5ポイント以上の差がでており、男女間で不安に思うことに違いがみられる。

年齢別で3位以下について違いをみると、30~34歳では「配偶者や自分の親の介護」(45.7%)、35~39歳では「子どもの教育やしつけ」(43.7%)が3位となっている。30~34歳、35~39歳では、「配偶者の親族とのつきあい」より、「配偶者や自分の親の介護」を不安に思う割合が高くなっている。

結婚経験別での違いをみると、死別・離別では「収入や仕事が安定しない」が 35.0%と他の結婚経験者に比べて高い割合となっている。一方、他に比べて割合が低くなっているのは「配偶者や自分の親の介護」(10.0%)、「出産・子育て」(20.0%)である。



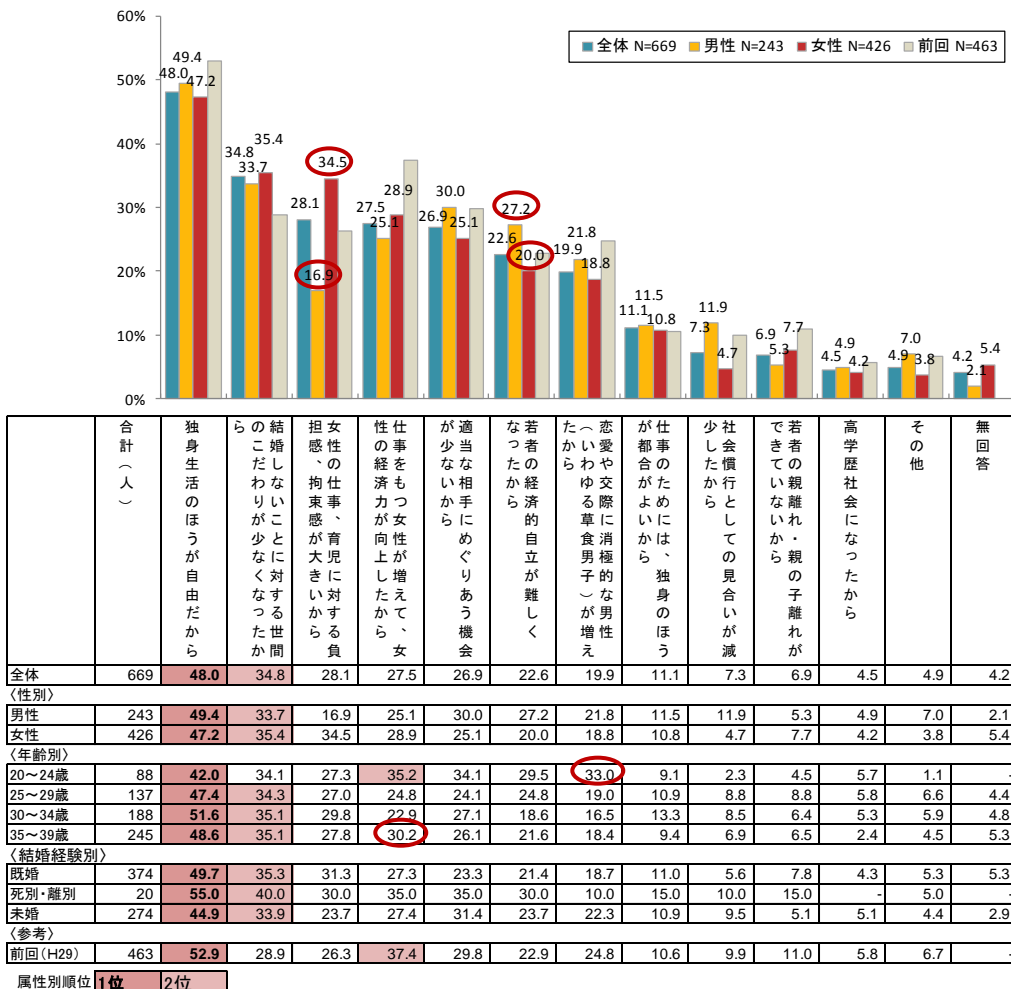
## 6. 未婚化・晩婚化の要因

問9 近年の少子化の原因の一つに、未婚化、晩婚化の進行が挙げられています。未婚化、晩婚化の理由についてあなたはどのように思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。（複数回答：3つまで）

全体では、「独身生活のほうが自由だから」が48.0%と最も高く、次いで「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから」が34.8%、「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」が28.1%となっている。

性別での違いをみると、最も差が大きいのは「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」の女性34.5%に対し、男性16.9%である。そのほか、「若者の経済的自立が難しくなったから」（男性：27.2%、女性：20.0%）でも男女間での差がみられる。

年齢別での違いをみると、20～24歳では次点に、35～39歳では3位に「仕事を持つ女性が増えて、女性の経済力が向上したから」（20～24歳：35.2%、35～39歳：30.2%）が入っている。また、20～24歳で「恋愛や交際に消極的な男性（いわゆる草食男子）が増えたから」が33.0%と、他の年齢に比べると割合が高くなっている。



## 7. 結婚支援への考え・要望

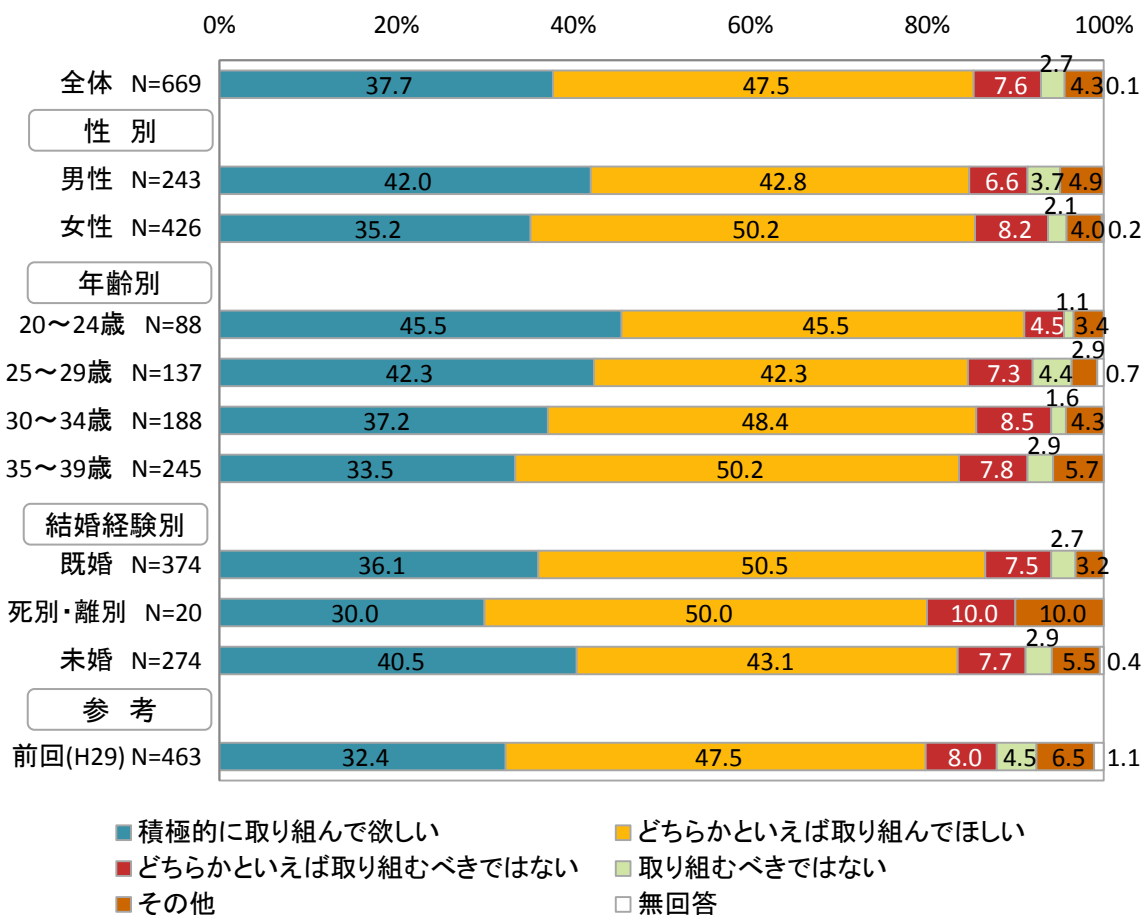
問 10 結婚を支援する施策（事業）を県や市町村が取り組むことについてどのように思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

全体でみると、「どちらかといえば取り組んで欲しい」が47.5%と最も高く、次いで「積極的に取り組んで欲しい」が37.7%となっており、取組みを希望する回答は85.2%となっている。

年齢別でみると、20～24歳では「積極的に取り組んで欲しい」、「どちらかといえば取り組んで欲しい」の合計が91.0%と、取組みを希望する割合が9割を超えている。「積極的に取り組んで欲しい」とする割合は、年齢が上がるとともに低くなっている。

結婚経験別でみると、未婚の4割強が「積極的に取り組んで欲しい」と回答している。

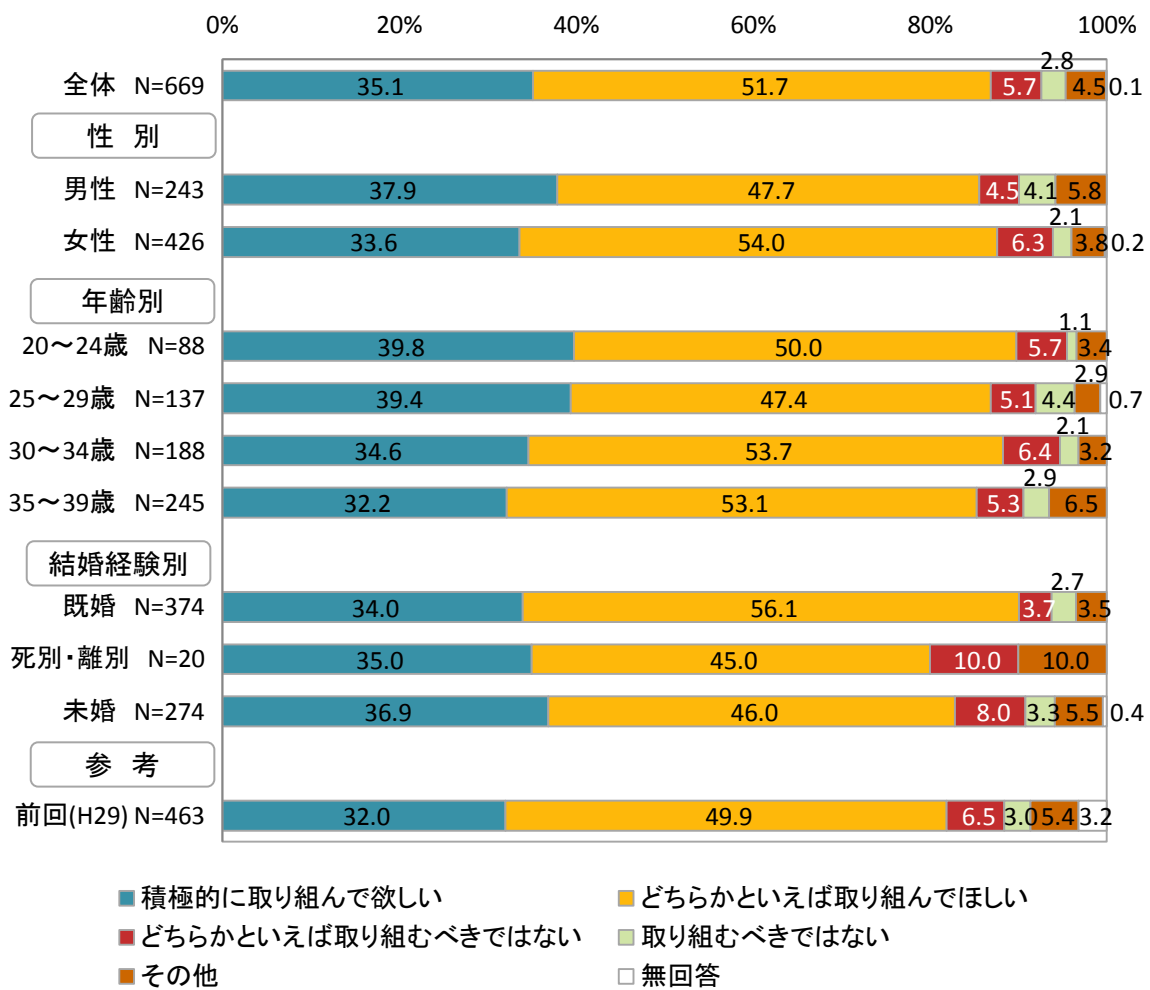
前回調査の取組みを希望する回答は79.9%であり、今回調査で取組みを希望する割合は増加している。



問 11 結婚を支援する施策（事業）をNPOなどの民間団体や企業が取り組むことについてどのように  
 思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

全体で見ると、「どちらかといえば取り組んで欲しい」が51.7%と最も高く、次いで「積極的に  
 取り組んで欲しい」が35.1%となっており、取組みを希望する回答は86.8%となっている。

前回調査の取組みを希望する回答は81.9%であり、今回調査で取組みを希望する割合は増加し  
 ている。





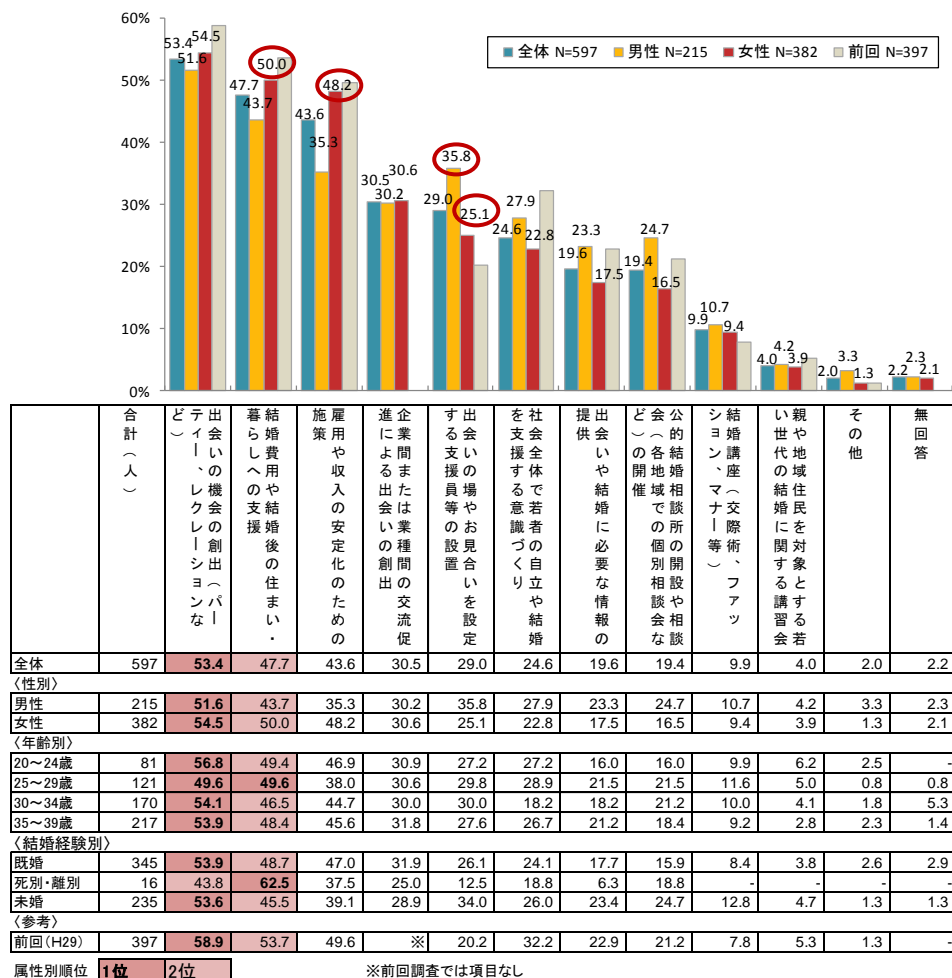
問 12 特にどのような取組みが必要だとお考えですか？あてはまるものをすべて選んでください。（問 10 または問 11 で「1. 積極的に取り組んで欲しい」か「2. どちらかといえば取り組んで欲しい」を選んだ人：複数回答）

全体では「出会いの機会の創出」が 53.4%と最も高く、次いで「結婚費用や結婚後の住まい・暮らしへの支援」が 47.7%、「雇用や収入の安定化のための施策」が 43.6%となっている。

性別での違いをみると、男性は「出会いの場やお見合いを設定する支援員等の設置」が 35.8%に対し、女性は 25.1%となっている。女性は「結婚費用や結婚後の住まい・暮らしへの支援」（50.0%）、「雇用や収入の安定化のための施策」（48.2%）の経済面での取組みへの希望が高くなっている。

結婚経験別での違いをみると、死別・離別では「結婚費用や結婚後の住まい・暮らしへの支援」が 62.5%と突出して最も高くなっている。

前回調査と今回調査では、上位 3 位までの順位は変わっていない。

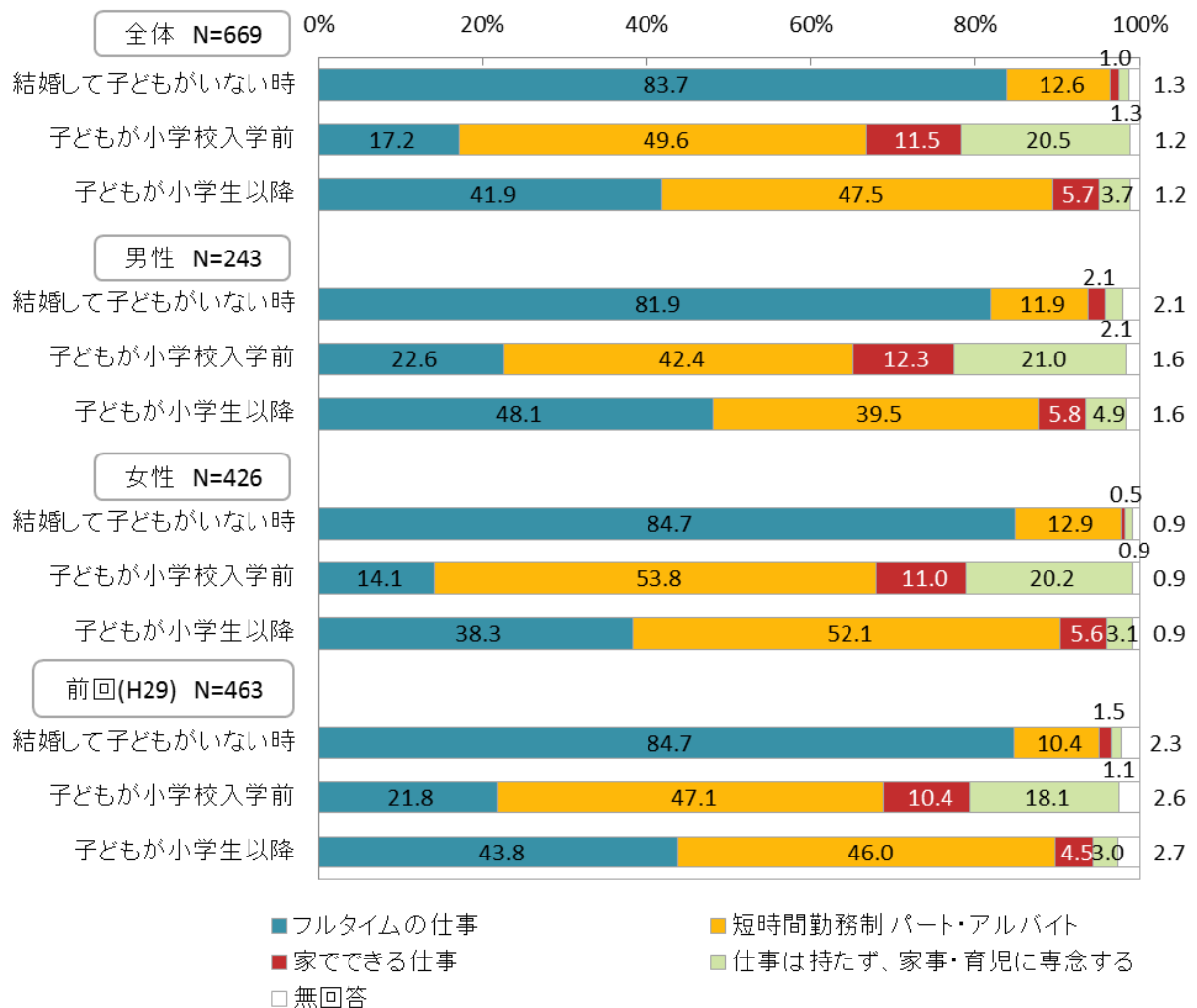


## 8. 結婚と仕事

問 13 結婚した女性の生き方についてご意見をうかがいます。あなたが女性の場合はあなたご自身が理想とする生き方を、あなたが男性の場合は配偶者の方に送ってほしい生き方を、結婚後の子どもの状況別にそれぞれお答えください。

全体では、結婚して子どもがいない時の働き方としては「フルタイムの仕事」が 83.7%と最も高くなっている。子どもが小学校入学前では「短時間勤務制 パート・アルバイト」が 49.6%、子どもが小学生以降でも「短時間勤務制 パート・アルバイト」が 47.5%と最も高くなっている。

性別でみると、男女で大きな差はみられないが、男性の子どもが小学校入学前と小学生以降では、「フルタイムの仕事」とする割合が女性よりやや高くなっている。

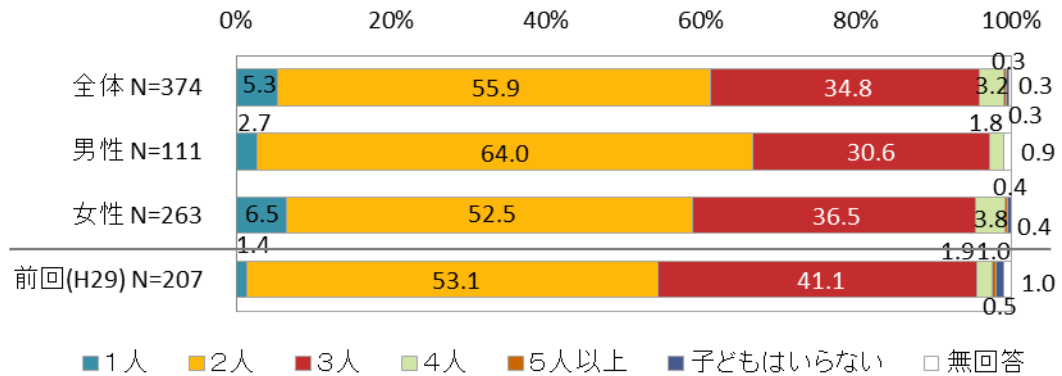


## 9. 子どもの人数

問 14 あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（結婚している人）

全体では「2人」が55.9%と最も高く、次いで「3人」34.8%となっている。

性別で見ると、女性では「3人以上」と回答した割合が40.7%と男性に比べ高くなっている。

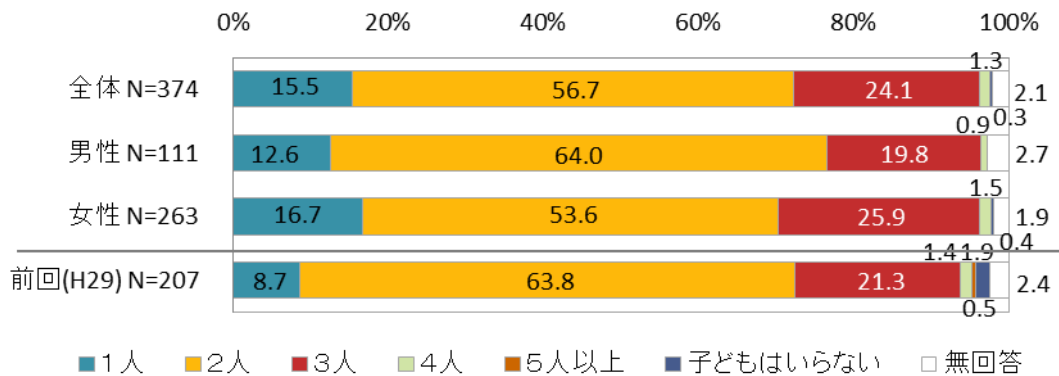


(上段：人、下段：%)

		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	無回答
男性	20～39歳	106	2	68	33	2	-	-	1
		100.0	1.9	64.2	31.1	1.9	-	-	0.9
	20～34歳	47	1	31	14	-	-	-	1
		100.0	2.1	66.0	29.8	-	-	-	2.1
	20～24歳	1	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	12	-	8	4	-	-	-	-
	100.0	-	66.7	33.3	-	-	-	-	
女性	30～34歳	34	-	23	10	-	-	-	1
		100.0	-	67.6	29.4	-	-	-	2.9
	35～39歳	59	1	37	19	2	-	-	-
		100.0	1.7	62.7	32.2	3.4	-	-	-
	無回答	5	1	3	1	-	-	-	-
		100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	-
	20～39歳	262	16	138	96	10	1	1	-
	100.0	6.1	52.7	36.6	3.8	0.4	0.4	-	
女性	20～34歳	135	10	73	45	6	-	1	-
		100.0	7.4	54.1	33.3	4.4	-	0.7	-
	20～24歳	5	-	3	1	1	-	-	-
		100.0	-	60.0	20.0	20.0	-	-	-
	25～29歳	42	4	23	13	1	-	1	-
		100.0	9.5	54.8	31.0	2.4	-	2.4	-
	30～34歳	88	6	47	31	4	-	-	-
	100.0	6.8	53.4	35.2	4.5	-	-	-	
女性	35～39歳	127	6	65	51	4	1	-	-
		100.0	4.7	51.2	40.2	3.1	0.8	-	-
	無回答	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	

問 15 あなた方ご夫婦にとって、実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(結婚している人)

全体では「2人」が56.7%と最も高く、次いで「3人」24.1%となっている。

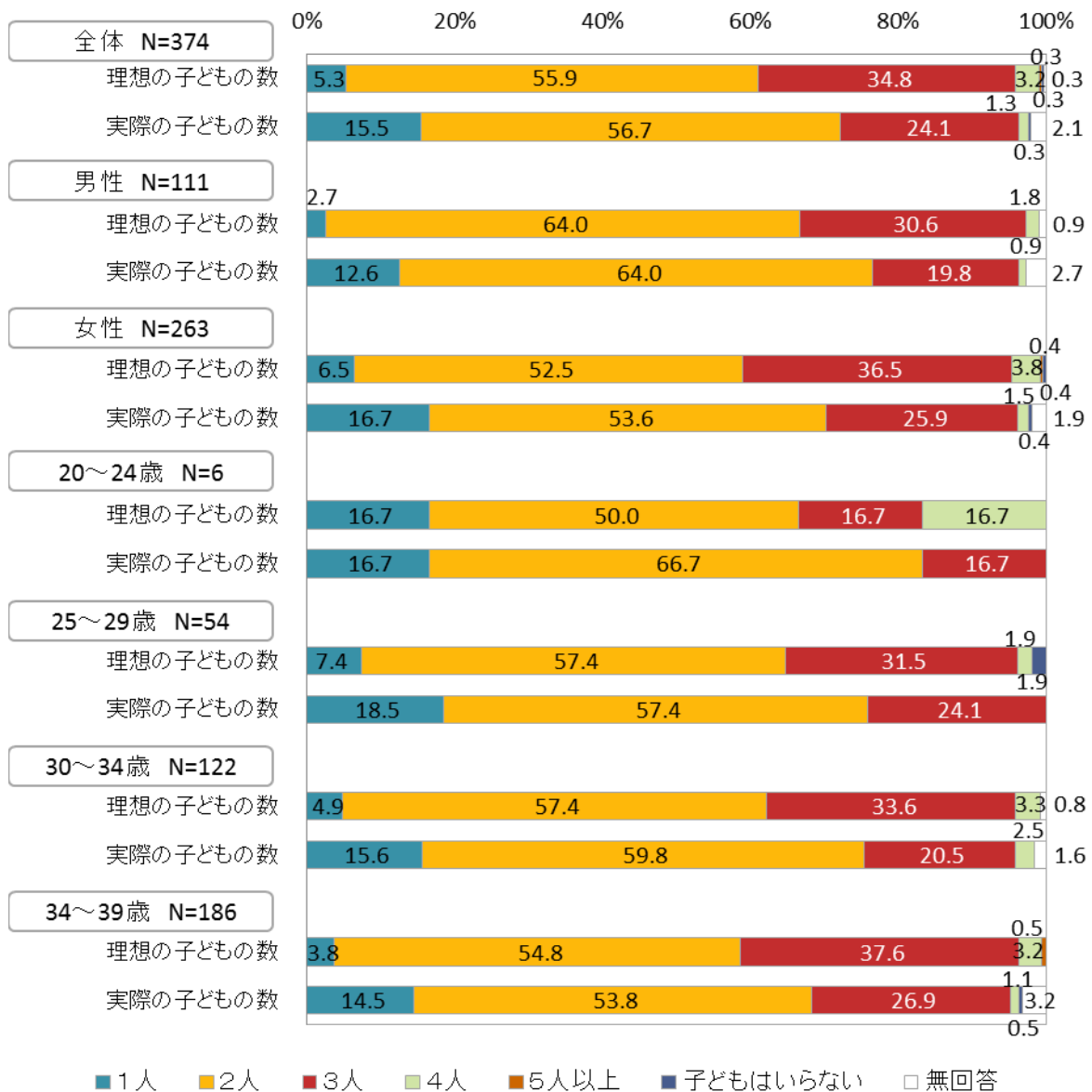


(上段: 人、下段: %)

		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	無回答
男性	20~39歳	106	13	68	21	1	-	-	3
		100.0	12.3	64.2	19.8	0.9	-	-	2.8
	20~34歳	47	7	30	9	-	-	-	1
		100.0	14.9	63.8	19.1	-	-	-	2.1
	20~24歳	1	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	25~29歳	12	1	8	3	-	-	-	-
		100.0	8.3	66.7	25.0	-	-	-	-
30~34歳	34	5	22	6	-	-	-	1	
	100.0	14.7	64.7	17.6	-	-	-	2.9	
35~39歳	59	6	38	12	1	-	-	2	
	100.0	10.2	64.4	20.3	1.7	-	-	3.4	
無回答	5	1	3	1	-	-	-	-	
	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	-	
女性	20~39歳	262	44	140	68	4	-	1	5
		100.0	16.8	53.4	26.0	1.5	-	0.4	1.9
	20~34歳	135	23	78	30	3	-	-	1
		100.0	17.0	57.8	22.2	2.2	-	-	0.7
	20~24歳	5	-	4	1	-	-	-	-
		100.0	-	80.0	20.0	-	-	-	-
	25~29歳	42	9	23	10	-	-	-	-
		100.0	21.4	54.8	23.8	-	-	-	-
30~34歳	88	14	51	19	3	-	-	1	
	100.0	15.9	58.0	21.6	3.4	-	-	1.1	
35~39歳	127	21	62	38	1	-	1	4	
	100.0	16.5	48.8	29.9	0.8	-	0.8	3.1	
無回答	1	-	1	-	-	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	

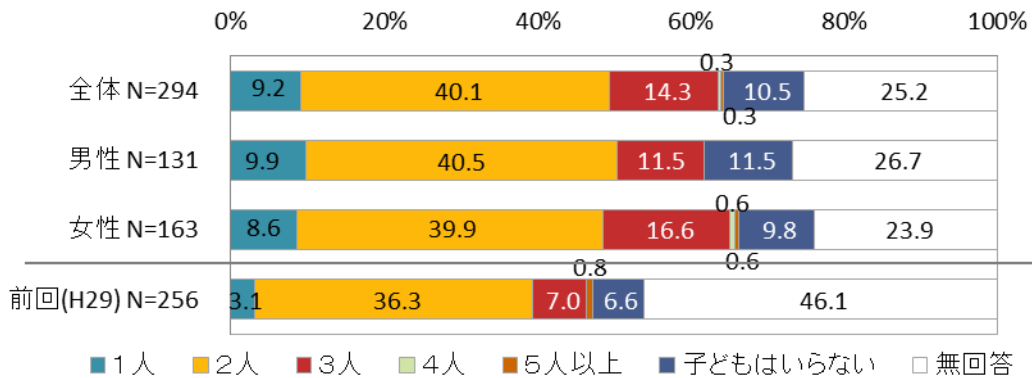
【理想の子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数の比較（結婚している人）】

理想の子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数を比較すると、全体的に実際の方が子どもの数が少なくなる傾向となっており、実際に持つつもりの子どもの数に「5人以上」と答える人はいなかった。また、子どもの数を「1人」と回答する割合が高くなっている。



問 16 あなたは、子どもは何人くらいほしいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（死別・離別した人、または未婚の人）

全体では「2人」が40.1%と最も高く、次いで「3人」14.3%となっている。また、「子どもはいらない」との回答が10.5%と1割を超えている。



(上段：人、下段：%)

		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	無回答
男性	20～39歳	130	13	52	15	-	-	15	35
		100.0	10.0	40.0	11.5	-	-	11.5	26.9
	20～34歳	100	5	45	11	-	-	11	28
		100.0	5.0	45.0	11.0	-	-	11.0	28.0
	20～24歳	31	1	15	5	-	-	1	9
		100.0	3.2	48.4	16.1	-	-	3.2	29.0
	25～29歳	38	1	15	4	-	-	6	12
		100.0	2.6	39.5	10.5	-	-	15.8	31.6
30～34歳	31	3	15	2	-	-	4	7	
	100.0	9.7	48.4	6.5	-	-	12.9	22.6	
35～39歳	30	8	7	4	-	-	4	7	
	100.0	26.7	23.3	13.3	-	-	13.3	23.3	
無回答	1	-	1	-	-	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	
女性	20～39歳	159	14	65	26	1	1	16	36
		100.0	8.8	40.9	16.4	0.6	0.6	10.1	22.6
	20～34歳	130	8	56	24	1	1	12	28
		100.0	6.2	43.1	18.5	0.8	0.8	9.2	21.5
	20～24歳	51	1	23	12	-	1	3	11
		100.0	2.0	45.1	23.5	-	2.0	5.9	21.6
	25～29歳	44	2	21	9	1	-	4	7
		100.0	4.5	47.7	20.5	2.3	-	9.1	15.9
30～34歳	35	5	12	3	-	-	5	10	
	100.0	14.3	34.3	8.6	-	-	14.3	28.6	
35～39歳	29	6	9	2	-	-	4	8	
	100.0	20.7	31.0	6.9	-	-	13.8	27.6	
無回答	4	-	-	1	-	-	-	3	
	100.0	-	-	25.0	-	-	-	75.0	

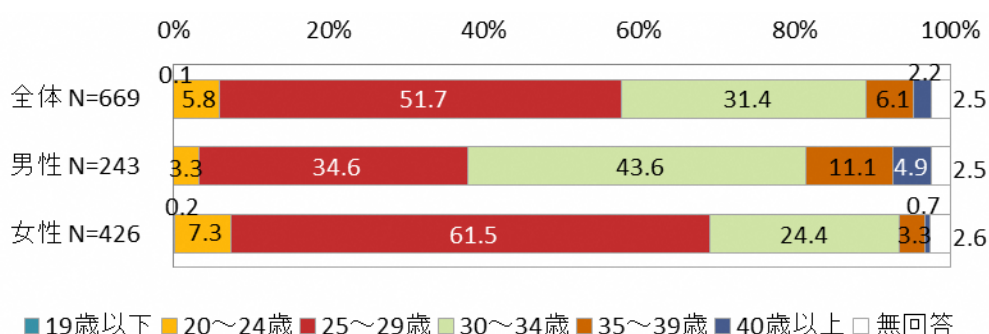
## 10. 第一子誕生の時期

問 17 あなた自身は、理想的には何歳ぐらいで子ども（第1子）を持ちたいと思いますか。実際にどうであるかは別として、あなたにとっての理想の年齢をお答えください。（数字でお答えください）

回答いただいた第一子誕生の理想の年齢を5歳区分で集計した。

全体では「25～29歳」を理想の第一子誕生の時期とする割合が51.7%と最も高く、次いで「30～34歳」が31.4%となっている。

性別で見ると、男性は「30～34歳」を理想の第一子誕生の時期とする割合が43.6%と最も高く、女性は「25～29歳」が61.5%と最も高くなっている。特に「25～29歳」と回答した割合が男女間で差が大きく、女性の割合が男性より26.9ポイント高くなっている。



【子ども（第一子）を持ちたい理想的な年齢について（平均値）】

	〈年齢別〉		〈結婚経験別〉		
		(歳)		(歳)	
全体 N=638	28.6	20-24歳 N=84	27.8	既婚 N=364	27.7
〈性別〉		25-29歳 N=130	28.5	死別・離別 N=20	27.4
男性 N=233	30.0	30-34歳 N=181	28.8	未婚 N=253	30.0
女性 N=405	27.7	35-39歳 N=234	28.8	※無回答を除く	

## 11. 出産後の住まい

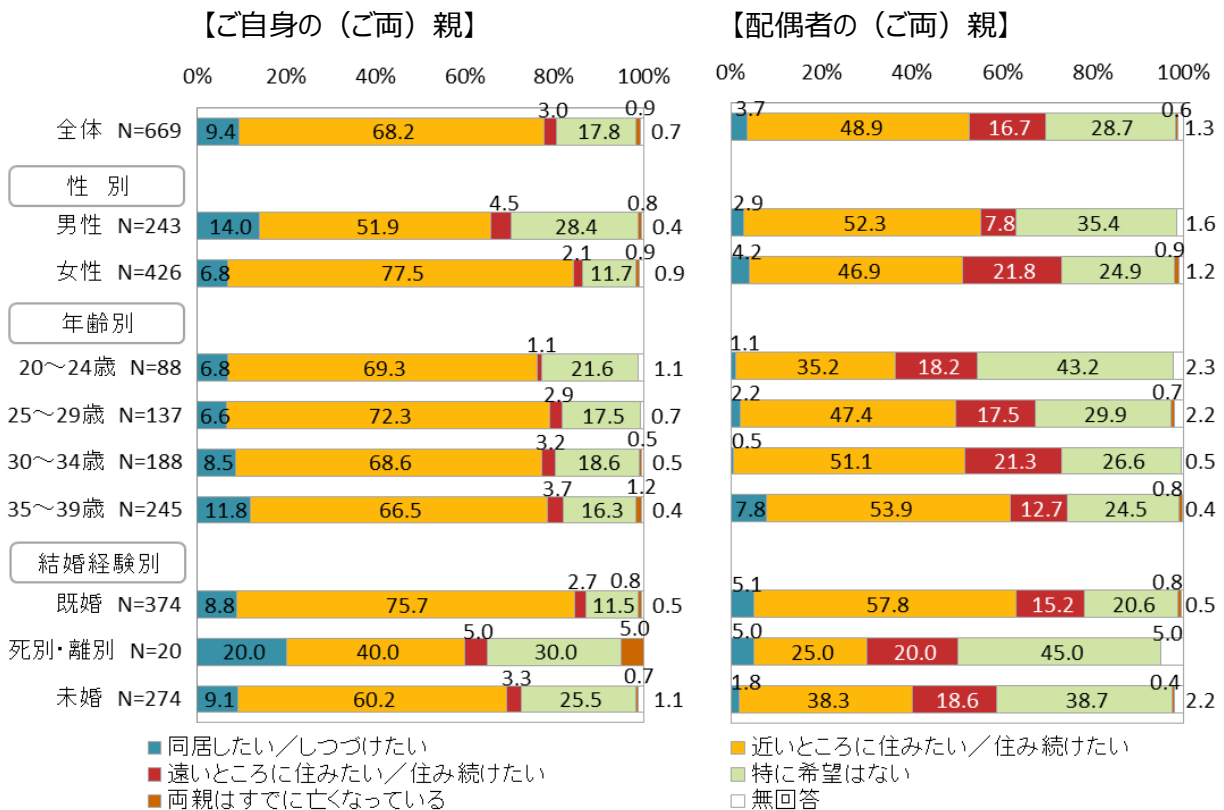
問18 出産後のお住まいについて、あなたはどのように思いますか。あなたご自身の（ご両）親、配偶者の（ご両）親それぞれについて、あなたの考え方にもっとも近いものをお選びください。実際にどうであるかは別として、あなたにとってこうしたいというものをお選びください。（配偶者がいない方は、いと仮定してお答えください。）

全体では、自身の親では「近いところに住みたい／住み続けたい」が68.2%と最も高く、次いで「特に希望はない」が17.8%となっている。配偶者の親でも「近いところに住みたい／住み続けたい」が48.9%と最も高いが、自身の親と比べると割合が低い。

性別での違いをみると、自身の親と「近いところに住みたい／住み続けたい」を選ぶ男性が51.9%に対し、女性が77.5%となっている。一方、配偶者の親とは「遠いところに住みたい／住み続けたい」を選ぶ男性が7.8%に対し、女性が21.8%となっており、考え方に差がみられる。

年齢別での違いをみると、20～24歳の配偶者の親では、「特に希望がない」が43.2%と最も高く、次いで「近い所に住みたい／住み続けたい」が35.2%となっている。35～39歳では、自身の親、配偶者の親ともに「同居したい／しつづけたい」と回答する割合が他の年齢に比べてやや高くなる傾向がある。

結婚経験別での違いをみると、既婚では、自身の親、配偶者の親ともに「近いところに住みたい／住み続けたい」を選ぶ割合が他に比べて高くなっている。死別・離別の配偶者の親では、「特に希望がない」が45.0%と最も高くなっている。また、死別・離別の自身の親では、「同居したい／しつづけたい」が20.0%と他に比べて高くなっている。





## 12. 子育てにやさしい社会にするために必要な取組み

問 19 「子育てにやさしい社会」にしていくために、今後、どのような取組みを実施（拡充）すべきと思いますか。自由にご意見をお書きください。（子どもがいる人）

「子育てにやさしい社会」にしていくために必要な取組みについて 261 件の意見をいただいた。それらの意見の傾向をみるため、意見に含まれる内容を項目に分けて集計した。なお、集計は、一人の意見の中に複数の項目が含まれる「複数回答」によるものであり、合計は 100%を超える。

項目	件数	%	内訳	
			男性	女性
環境整備（遊び場等）	94	36.0	21	73
1 遊び場の充実（屋内）	45	17.2	6	39
2 遊び場の充実や情報提供	29	11.1	7	22
3 遊び場の充実（屋外〔公園等〕）	20	7.7	7	13
4 遊び場の安全管理	6	2.3	2	4
環境整備（授乳場所等）	65	24.9	11	54
1 授乳場所やオムツ替え場所の整備	35	13.4	6	29
2 トイレの整備（ベビーチェア、ベビーシート設置を含む）	23	8.8	2	21
3 男性トイレの整備（ベビーチェア、ベビーシート設置を含む）	22	8.4	5	17
4 駐車場の充実（屋根の整備）	2	0.8	0	2
経済的な支援、費用の軽減	50	19.2	23	27
1 教育費の無償化および軽減	14	5.4	9	5
2 保育料の無償化および軽減	9	3.4	2	7
3 各種手当の拡充	9	3.4	4	5
4 医療費の無償化および軽減	6	2.3	3	3
5 その他の経済的な支援	17	6.5	7	10
保育サービスの充実	44	16.9	5	39
1 保育の充実（一時保育の充実など）	19	7.3	5	14
2 病児保育の充実（施設の増設など）	9	3.4	0	9
3 学童保育の充実（対象年齢の拡充など）	9	3.4	0	9
働きやすい環境の整備	36	13.8	12	24
1 仕事と子育ての両立	13	5.0	4	9
2 男性の仕事と子育ての両立（育児休暇の取得等）	9	3.4	0	9
3 育児休業の充実（期間の延長等）	5	1.9	2	3
飲食店に関する要望	21	8.0	2	19
1 子連れで行ける外食環境の整備	18	6.9	1	17
2 その他飲食店への要望	3	1.1	1	2
母親を中心とした親へのサポート、情報提供	17	6.5	2	15
子育てしやすい社会や環境づくり（周囲の理解等）	9	3.4	2	7
その他	3	1.1	2	1
合計	339		80	259

## 【各項目の主な意見（例示）】

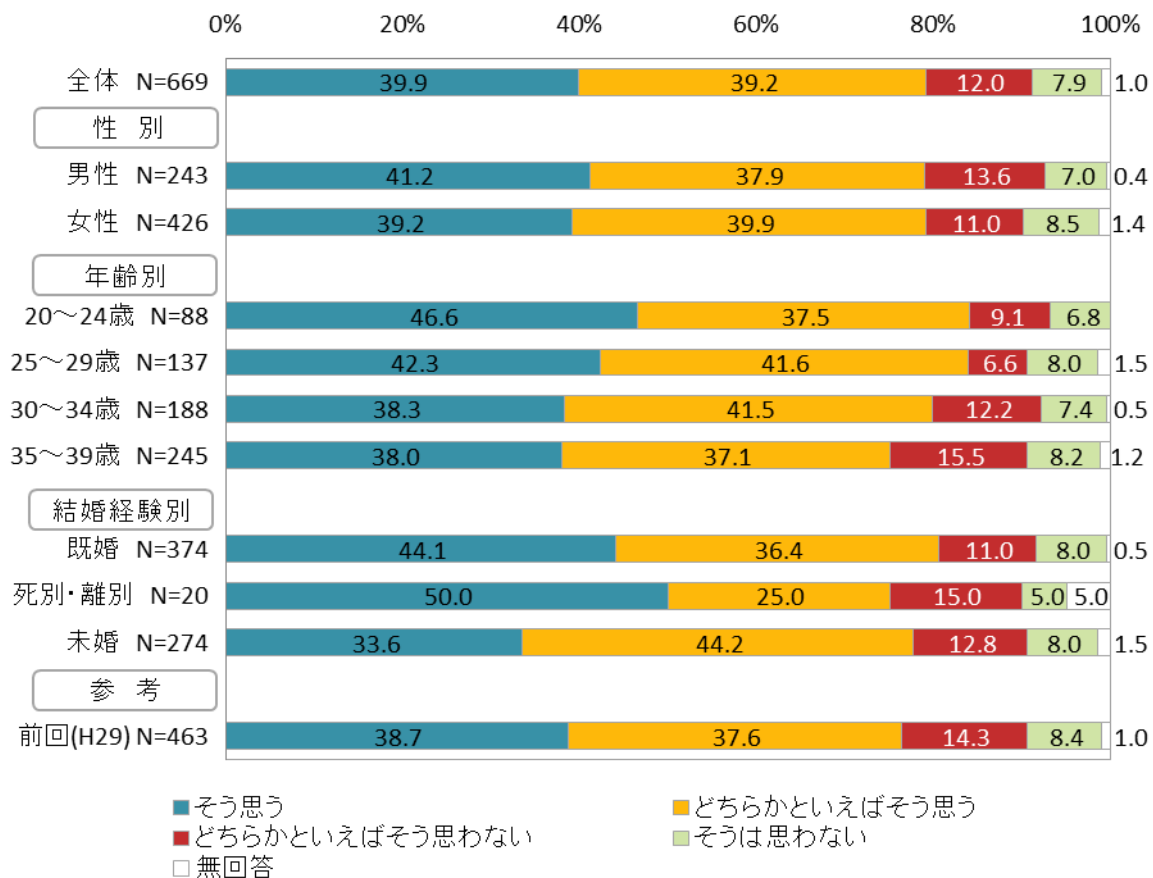
- ・ **環境整備（遊び場等）**には、「富山県は、年間を通じて雨や雪の天候の日が多いので、もっと屋内で子どもを遊ばせる施設を増やしてほしい」、「子どもの遊び場所を増やして、情報を提供して欲しい」、「公園を綺麗にして、遊ぶ遊具などを増やす」、「遊び場の安全管理の徹底」など。
- ・ **環境整備（授乳場所等）**には、「授乳場所、ベビーシートの整備（清潔さも含め）」、「幼児用の小さいトイレの設置」、「子供と一緒に入れるスペースのトイレと衛生管理」、「男性トイレへのベビーチェア・ベビーシート等の整備」など。
- ・ **経済的な支援、費用の軽減**には、「教育に関する費用（こども園や学校の教材等）の支援」、「保育所の無償化（所得制限なし）」、「出産や子育ての助成金」、「18歳まで医療費、教育費の無償化」、「子育てするにあたっての経済的支援を充実してもらいたい」など。
- ・ **保育サービスの充実**には、「保育所、託児所の充実」、「保育園や子どもが体調を崩した時に預かってくれる病児保育の充実」、「学童保育の仕組みの考え直し。低学年は小学校の敷地内に設置してほしい。普段は利用しない人でも夏休み等、長期の休みに利用できる」など。
- ・ **働きやすい環境の整備**には、「子育てしながら働き続けることのできる環境、仕組み（転勤、単身赴任の抑制）。ハード面だけでなく、男性、特に部下を持つ年代の意識改革といったソフト面の環境」、「男性も定時退社や子供の看護休暇（有休）がとりやすい雰囲気づくり」、「男女関係なく育児休暇などが取りやすい職場」など。
- ・ **飲食店に関する要望**には、「子供がいても気軽に入れる飲食店」など。
- ・ **母親を中心とした親へのサポート、情報提供**には、「子育ての親たちが孤立しない取組み」、「母親等への精神的、肉体的軽減サービス」、「父親教室、男性女性両方の意識改革」、「地域で相談できる等交流できる機会」など。
- ・ **子育てしやすい社会や環境づくり（周囲の理解等）**には、「子供をもつと、周囲に迷惑でないかという周りの目がやたら気になる。日本はまだまだ子育てしにくい環境にあると思う。もっと大らかな心で子育てというものを見守ってもらえるような、のびのび育てられるような環境作り（意識改革）をしてもらいたい」、「母の負担が大きい。父親にも育児しやすい社会づくりをもう少し本格的に考えてほしい」など。

### 13. 国や自治体の少子化対策

問 20 あなたは、国や自治体が、経済的支援や保育サービスの提供、仕事と子育ての両立支援といった現在の少子化対策を十分に拡充していけば、「子どもが欲しい」または「もう1人子どもが欲しい」という気持ちになると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

全体では、「そう思う」が39.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が39.2%となっており、国や自治体の少子化対策拡充に肯定的な回答は79.1%となっている。

前回調査で肯定的な回答は76.3%であり、今回調査での割合は微増している。



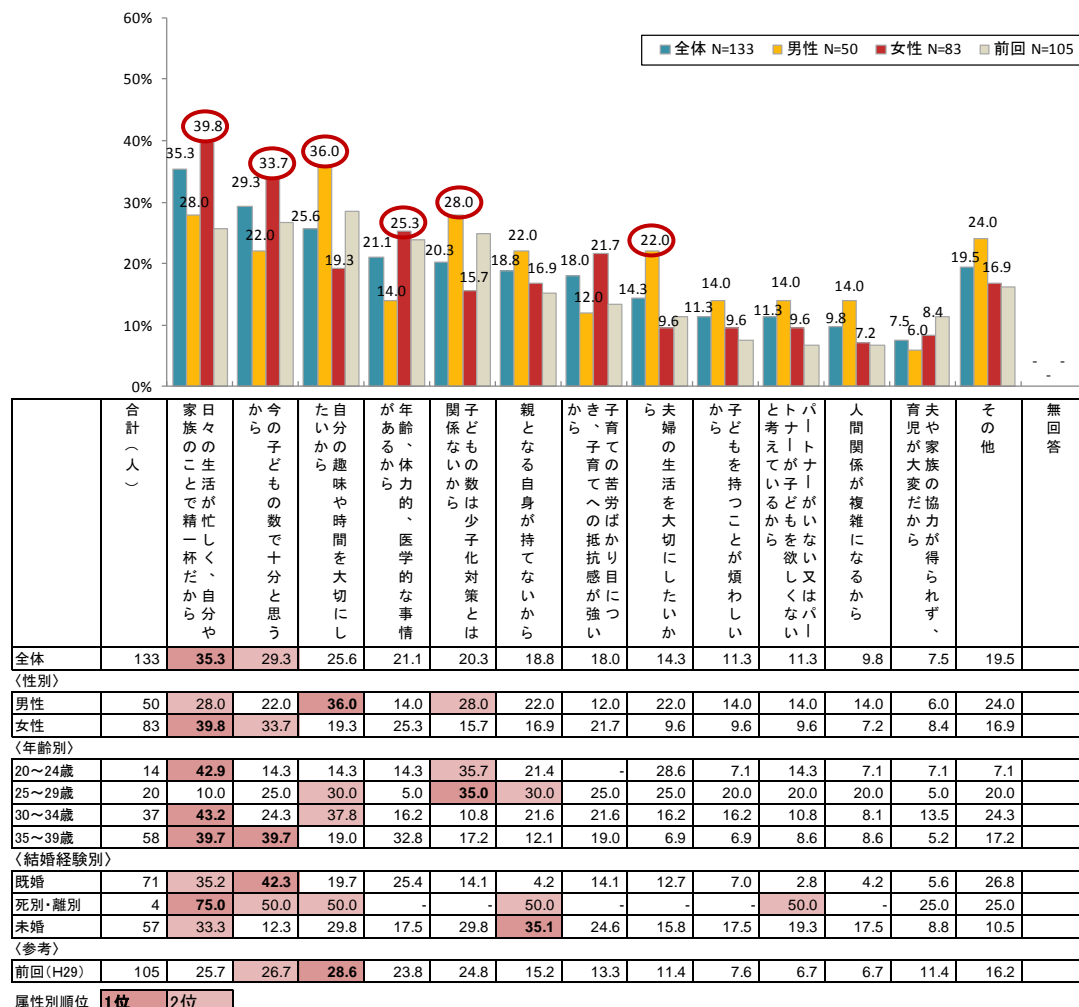
問 21 あなたは、少子化対策を拡充しても、そのような気持ちにならないと思うのはどうしてですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（問 20 で「3. どちらかといえばそう思わない」か「4. そうは思わない」を選んだ人：複数回答）

全体では、「日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから」の 35.3%が最も高く、次いで「今の子どもの数で十分だと思うから」が 29.3%、「自分の趣味や時間を大切にしたいから」が 25.6%と続いている。

性別での違いをみると、男性の回答の割合が女性よりも高い選択肢は、「自分の趣味や時間を大切にしたいから」（男性：36.0%、女性 19.3%）、「夫婦の生活を大切にしたいから」（男性：22.0%、女性 9.6%）、「子どもの数は少子化対策とは関係ないから」（男性：28.0%、女性 15.7%）である。一方、女性の回答の割合が男性よりも高い選択肢は、「日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから」（男性：28.0%、女性 39.8%）、「今の子どもの数で十分と思うから」（男性：22.0%、女性：33.7%）、「年齢、体力的、医学的な事情があるから」（男性：14.0%、女性：25.3%）の項目で男女間に考え方の差がみられる。

結婚経験別でみると、既婚では「今の子どもの数で十分と思うから」が 42.3%で最も高く、未婚では「親となる自身が持てないから」が 35.1%と最も高くなっている。

前回調査で最も高かった「自分の趣味や時間を大切にしたいから」（28.6%）は 3 位に順位を下げている。



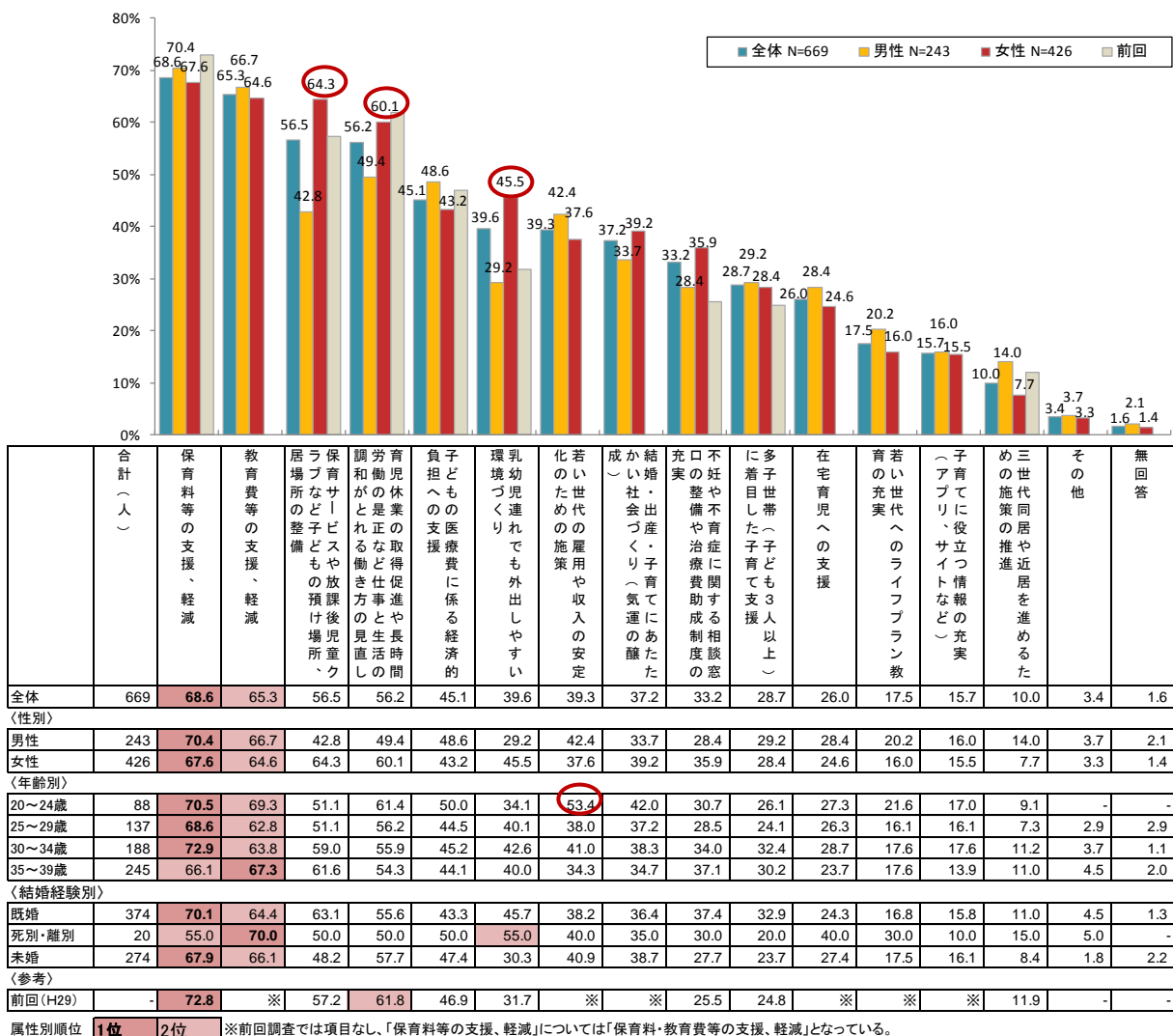
## 14. 少子化対策への考え・要望

問 22 行政が、結婚・出産・少子化対策に取り組む上で、どのような施策を拡充すべきと考えますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

全体では「保育料等の支援、軽減」が68.6%と最も高く、次いで「教育費等の支援、軽減」が65.3%、「保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備」が56.5%となっている。

性別で比較すると、「保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備」（男性：42.8%、女性：64.3%）、「乳幼児連れでも外出しやすい環境づくり」（男性：29.2%、女性：45.5%）の項目で女性が男性を大きく上回っている。そのほか、「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」（男性49.4%、女性60.1%）でも差がみられた。

年齢別で比較すると、20～24歳では、「若い世代の雇用や収入の安定化のための施策」が53.4%と他の年齢に比べ高くなっている。



## 15. 自由意見

結婚・出産、少子化対策について、どのようなことでも結構ですので、ご意見をお書きください。

結婚・出産、少子化対策について 226 件の意見をいただいた。それらの意見の傾向をみるため、意見に含まれる内容を項目に分けて集計した。なお、集計は、一人の意見の中に複数の項目が含まれる「複数回答」によるものであり、合計は 100%を超える。

項目	件数	%	内訳	
			男性	女性
経済面での不安および支援の要望	35	15.5	13	22
1 経済的な将来への不安	19	8.4	7	12
2 収入の安定化	10	4.4	3	7
3 経済的支援の充実	6	2.7	3	3
施策への要望や情報発信について	35	15.5	17	18
1 制度や施策への要望	19	8.4	10	9
2 情報発信、啓発	12	5.3	5	7
3 魅力的な環境づくり	4	1.8	2	2
子育て支援の充実	31	13.7	2	29
1 保育園や学童について	14	6.2	0	14
2 親へのサポート	6	2.7	1	5
3 病児保育の充実	5	2.2	0	5
4 その他の支援	6	2.7	1	5
職場の意識改革	25	11.1	2	23
1 仕事と子育ての両立支援	15	6.6	0	15
2 育児休業の取得やその後の復職について	6	2.7	2	4
3 その他	4	1.8	0	4
出産・子育てに関する費用負担の軽減	23	10.2	9	14
1 子育てに関する経済的な支援	10	4.4	3	7
2 保育料、教育費の負担軽減	8	3.5	4	4
3 多子世帯への支援	5	2.2	2	3
社会の意識改革や環境づくり	23	10.2	3	20
1 子育てしやすい環境づくり	10	4.4	1	9
2 男性の意識改革および女性の負担の軽減	7	3.1	0	7
3 社会への要望	6	2.7	2	4
不妊治療への支援	17	7.5	3	14
結婚についての意見	15	6.6	4	11
出会いの機会の創出	13	5.8	5	8
少子化についての意見	13	5.8	6	7
その他の意見	3	1.3	2	1
合計	233		66	167

### 【各項目の主な意見（例示）】

・経済面での不安および支援の要望には、「将来子どもが欲しいと思うが給料が少ないので、経済支援などしてもらわなければ2、3人育てるのは大変だと思う。また生活が苦しくなるくらいなら産むのを躊躇するかもしれない」、「子供を作っても安心できる収入の確保または経済的支援の整備」など。

・**施策への要望や情報発信**については、「結婚、妊娠・出産、子育てのどの段階でも行政の支援は必要」、「1人の時には経験できないことが経験できるので、結婚や出産を薦めてほしい。特に女性の場合、子どもが産める期間があるのでそれは早めに伝えてほしい」、「産みたい、結婚して富山に住みたいと思うような町づくり、県の施策を考えるべきだと考える」など。

・**子育て支援の充実**には、「保育園入園のための理由（就労等）をなくしてほしい」、「病児保育施設の数が市町村によって大きく違い、これらの施設を充実させることも少子化対策にとって大事」、「母子、父子家庭への理解あるサポートがまだまだ十分ではないと思う」など。

・**職場の意識改革**には、「対策があっても、昔は当たり前だったという風情がある。育児休暇の取得や、ワークライフバランスに取り組んでいるが、実際うまくできていない。政策があっても上司の理解がないので、つらい」、「もっと子育てでのお休みがとりやすい職場がたくさんほしい。なかなか理解のある職場がなくパートをしています。本当は、正社員として働きたい」など。

・**出産・子育てに関する費用負担の軽減**には、「子育てにかかる費用が大きいと思うので、支援を充実させてほしい」、「子どもが増えるほどに将来への不安を感じる。特に教育や進学に関する費用の準備が出来そうにない」、「3人目以降の子どもには特に手厚い支援があると良い」など。

・**社会の意識の変化や環境づくり**には、「もっと子育てに寛容な社会になってほしい」、「家の事は夫婦で協力して行う。どちらかだけに負担がかかる事がないように」、「外国と比べても日本の意識が変わらないと意味がないと思う。男性の協力も、会社の協力も、高齢者が優先の社会なので・・・。子供はかわいそうです。将来の不安しかない」など。

・**不妊治療への支援**には、「不妊症世帯に対しての、心のケアや経済的支援（仕事と不妊治療の両立が難しい）」など。

・**結婚についての意見**には、「1人、独身でも楽しめることが増えたので、結婚しなくても大丈夫と思う人が増えたと思います。（アニメーション、遊べる場所、SNS）」、「人生で結婚することは1度くらいは経験してもいいと思う。世の中で言うほど結婚は悪い事ばかりではない」など。

・**出会いの機会の創出**には、「婚活パーティーとかではなく、出会いもかねてのイベントなどを企画してほしいです。例えば、体育館を借りてのビーチボール大会とか、飲み会とか。気負いしなくていいと思います」など。

・**少子化についての意見**には、「趣味や娯楽の多様化が近年の少子化の一因に挙げられていると思います。そのような社会の雰囲気や流れがあるため、少子化についてはある程度仕方のないことなのかなと思います。ですが、少子化を肯定するつもりはないので、自分のできる範囲で社会（少子化対策）に貢献したい」など。

## 16. 希望出生率について

「希望出生率」は、国民（県民）の結婚や子育ての希望がかなった場合の出生率であり、結婚や子育てに関する現実と希望とのギャップを解消し、希望ができるだけ実現できるよう取り組む必要がある。

今回実施した「結婚等に関する県民意識調査」の結果に基づき、富山県民の希望出生率を試算した。その結果、富山県は全国に比べ、未婚者の結婚意志は低いものの、理想の子ども数が多くなっている。

$$\text{「希望出生率」} = \{ \text{既婚者割合} \times \text{予定子ども数} + \text{未婚者割合} \times \text{未婚結婚希望割合} \times \text{理想子ども数} \} \times \text{離別等効果}$$

富山県の希望出生率の算出根拠（対象はいずれも 20～34 歳の女性）

①既婚者割合……………平成 27 年国勢調査による有配偶者割合	38.6%
②予定子ども数……………妻の年齢 20～34 歳の初婚どうしの夫婦の平均予定子ども数	2.12 人
③未婚者割合……………平成 27 年国勢調査による有配偶者以外（不詳含む）の割合	61.4%
④未婚結婚希望割合…「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者	89.0%
⑤理想子ども数……………「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者の平均希望子ども数	2.17 人
⑥離別等効果……………国立社会保障 人口問題研究所「日本の将来推計人口」に用いられた 離死別等の影響数値	0.955

※②④⑤は、「結婚等に関する県民意識調査（問 2 - 1、問 15、問 16）」より

$$\{ (38.6\% \times 2.12 \text{ 人}) + (61.4\% \times 89.0\% \times 2.17 \text{ 人}) \} \times 0.955 \doteq \underline{\underline{1.9}}$$

（参考：全国）

$$\{ (32.0\% \times 2.01 \text{ 人}) + (68.0\% \times 89.3\% \times 2.02 \text{ 人}) \} \times 0.955 \doteq \underline{\underline{1.8}}$$

「平成 27 年国勢調査」「第 15 回（平成 27 年）出生動向基本調査」の結果による



### Ⅲ 使用した調査票

---



# 「結婚等に関する県民意識調査」へのご協力をお願い

## アンケート協力をお願い

この調査は、県内在住の20代から30代の皆様を対象に結婚や出産についての率直な思いや意識をお伺いすることで、今後の県の結婚支援施策や少子化対策に役立てることを目的としております。

なお、この調査は、無作為による抽出で選ばせていただいた方にお送りしております。ここでお聞きしたことを他の目的で使うことはありませんし、個人情報厳重に取り扱います。

調査にご協力いただきますようお願いいたします。

## ご回答方法について

回答につきましては、**下記「(1) 調査票による回答」または「(2) Webによる回答」のいずれかの方法**にてお願いします。

### (1) 調査票による回答の場合

- 調査対象者ご自身がご記入くださいますようお願いいたします。
- ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- 調査票は、**必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送ください**ますようお願いいたします。

### (2) Webによる回答の場合

- 「URL」もしくは「QRコード」よりアクセスしてください。

【URL】

<https://questant.jp/q/toyama-kekkon2019>

【QRコード】



※ 令和元年 7月5日（金） までにご返送（ご回答）願います。

### 【お問い合わせ先】

富山県総合政策局少子化対策・県民活躍課  
少子化対策係  
TEL 076-444-2174

### 【調査票送付先】

一般財団法人北陸経済研究所  
TEL 076-433-1134  
担当 吉田、内田

(この調査は一般財団法人北陸経済研究所に委託しております。)

## 「結婚等に関する県民意識調査」

▼ あなたご自身のことについて、該当する数字を○で囲んでください。  
記入欄（F2）には数字をご記入ください。

**F1** あなたの性別は？

1. 男性                      2. 女性

**F2** あなたの年齢は？

(                      ) 歳

**F3** あなたのお住まいの市町村は？

1. 富山市（旧富山市）  
2. 富山市（旧大沢野町、旧大山町、旧八尾町、旧婦中町、旧山田村、旧細入村）  
3. 高岡市                      4. 魚津市                      5. 氷見市                      6. 滑川市  
7. 黒部市                      8. 砺波市                      9. 小矢部市                      10. 南砺市  
11. 射水市                      12. 舟橋村                      13. 上市町                      14. 立山町  
15. 入善町                      16. 朝日町

**F4** あなたのご職業は？

1. 自営業（自由業、家族従事者を含む）                      2. 雇用者（正社員、公務員などの正規職員）  
3. パートタイマー・派遣等の非正規雇用者                      4. その他の仕事  
5. 学生                      6. 無職・家事専業

**F5** あなたは、現在結婚していますか？

1. 結婚している                      } 【結婚経験あり】  
2. 結婚していたが、死別・離別した  
3. 今まで結婚したことはない                      【未婚】

**F6** **F5** で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きます。

ご夫婦の初再婚の別をお答えください。

- 「あなたについて」                      ⇒    1. 初婚                      2. 離婚後再婚                      3. 死別後再婚  
「あなたの配偶者について」                      ⇒    1. 初婚                      2. 離婚後再婚                      3. 死別後再婚

F7

あなたはお子さまがいらっしゃるでしょうか？  
 あてはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

1. 1人      2. 2人      3. 3人      4. 4人以上      5. 子どもはいない

F8

現在どなたと一緒に暮らしていますか。  
 あてはまるものをすべてお選びください。あなたご自身からみた続柄でお答えください。  
 （○はいくつでも）

1. 配偶者（事実婚を含む）      2. 父      3. 母  
 4. 子ども      5. 祖父母      6. 配偶者の父  
 7. 配偶者の母      8. 配偶者の祖父母      9. 兄弟または姉妹  
 10. 配偶者の兄弟または姉妹      11. 兄弟、または姉妹の配偶者      12. 甥・姪  
 13. 恋人      14. その他（具体的に      ）      15. 一人暮らし

F9

現在のお住まいは、あなたご自身の親や、配偶者の親の家との程度離れていますか。  
 （○はA・Bにそれぞれ 1つずつ）

	1 同居している	2 同じ敷地内の別棟 に住んでいる	3 近居している	4 遠くに住んでいる	5 両親はすでに亡く なっている	6 配偶者はいない
A) 自分の（ご両）親	1	2	3	4	5	/
B) 配偶者の（ご両）親	1	2	3	4	5	6



F5 で「結婚経験あり」の方にお聞きます。

問4

配偶者とのようなきっかけで知り合いましたか。

次の中からもっともあてはまるもの1つを選んでください。(1つに○)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 学校                 | 2. 学校以外のサークルやクラブ活動・習い事 |
| 3. 職場や仕事の関係           | 4. 幼なじみ・隣人関係           |
| 5. 地域やボランティア活動        | 6. 友人や兄弟(姉妹)を通じた紹介     |
| 7. 見合い(親や親戚・上司の紹介も含む) | 8. 合コンやパーティー           |
| 9. 結婚相談所              | 10. 街中や旅行先             |
| 11. アルバイト先            | 12. インターネット            |
| 13. その他( )            |                        |

F5 で「結婚経験あり」の方にお聞きます。

問5

配偶者と交際を始める前、交際相手に会うことを期待してどのようなことを行っていましたか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼んだ
2. 職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ
3. 合コンやパーティーに行った
4. インターネットを利用した
5. 趣味のサークルに入った
6. スキルアップや資格取得のための学校に通った
7. 親や親戚・上司に紹介を頼んだ
8. お見合いをした
9. 民間の結婚相談所を利用した
10. 地方自治体やNPOなどの団体の結婚相談所を利用した
11. その他( )
12. 特になにもしていない

次に **問8** へ  
お進みください。

問6

-1 F5 で「未婚」の方にお聞きます。

現在結婚していない理由を、次の中から3つまで選んでください。(3つまで○)

- |                          |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|
| 1. まだ若いから                | 2. 必要性を感じない                        |
| 3. 仕事(学業)に打ち込みたい         | 4. 趣味や娯楽を楽しみたい                     |
| 5. 自由や気楽さを失いたくない         | 6. 仕事が忙しすぎるから                      |
| 7. 適当な相手にめぐり会わない         | 8. 異性とうまくつきあえない                    |
| 9. 結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない | ➡ 「9」を選んだ方は <b>問6</b> -2 へお進みください。 |
| 10. 住宅のめどが立たない           | 11. 親や周囲が同意しない                     |
| 12. 雇用が安定しない             | 13. 結婚するつもりがない                     |
| 14. その他( )               |                                    |

問6 -2 問6 -1 で「9」を選んだ方にお聞きます。

結婚や結婚後の生活に係る費用の中で負担が大きいと感じるものは何ですか。  
負担の大きいものから3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1. 挙式や新生活の準備のための資金
  2. 結婚生活のための住居取得費
  3. 結婚後の生活に係る費用
  4. 子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用
  5. その他 ( )
- 1位 ( )                      2位 ( )                      3位 ( )

問7

F5 で「未婚」の方にお聞きます。

異性と交際する上での不安はありますか。

不安がある場合はあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない
2. どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない
3. 恋愛交際の進め方がわからない
4. 異性との交際がなんとなくこわくて、交際に踏みきれない
5. 過去の失恋経験からまた異性にふられるのではないかと思う
6. 自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う
7. 自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ
8. そもそも異性との出会いの場所がわからない
9. その他 ( )

問8

全員にお聞きます。

結婚生活を送っていく上で不安に思っていること(思ったこと)は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

※ F5 で「未婚」の方は、結婚すると仮定してお答えください。

1. 配偶者と心が通わなくなる・不仲になること
2. 配偶者との家事分担
3. 配偶者の親族とのつきあい
4. 配偶者や自分の親の介護
5. 経済的に十分な生活ができるかどうか
6. 今までの仕事が続けられるか
7. 収入や仕事が安定しない
8. 自分の自由時間がとれなくなる
9. 出産・子育て
10. 子どもの教育やしつけ
11. 子どもが授かるか
12. その他 ( )
13. わからない







問15

F5

で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きます。

あなた方ご夫婦にとって、実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。

次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 1人                                      2. 2人                                      3. 3人                                      4. 4人  
5. 5人以上 (                                      )人                                      6. 子どもはいらない

問16

F5

で「2. 結婚していたが、死別・離別した」か、「3. 今まで結婚したことはない」と答えた方にお聞きます。

あなたは、子どもは何人くらいほしいですか。

次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 1人                                      2. 2人                                      3. 3人                                      4. 4人  
5. 5人以上 (                                      )人                                      6. 子どもはいらない

問17

全員にお聞きます。

あなた自身は、理想的には何歳くらいで子ども(第1子)を持ちたいと思いますか。実際にどうであるかは別として、あなたにとっての理想の年齢をお答えください。(数字でお答えください)

(                                      ) 歳

問18

全員にお聞きます。

出産後のお住まいについて、あなたはどのように思いますか。

あなたご自身の(ご両)親、配偶者の(ご両)親それぞれについて、あなたの考え方にもっとも近いものをお選びください。実際にどうであるかは別として、あなたにとってこうしたいというものをお選びください。(配偶者がいない方は、いと仮定してお答えください。)(○はA・Bにそれぞれ1つずつ)

希望の別等 (ご両)親の別	1 同居したい／しつづけたい	2 近いところに住みたい／住み続けたい	3 遠いところに住みたい／住み続けたい	4 特に希望はない	5 両親はすでに亡くなっている
A)ご自身の(ご両)親	1	2	3	4	5
B)配偶者の(ご両)親	1	2	3	4	5

問19

F7

で「1～4」と回答した方（お子さまがいらっしゃる方）に伺います。

「子育てにやさしい社会」にしていくために、今後、どのような取組みを実施（拡充）すべきと思いますか。自由に  
意見をお書きください。

〔記載例：授乳場所の整備、男性トイレへのベビーチェア・ベビーシート等の整備、  
子どもの遊び場所等の情報提供の充実〕

問20

全員にお聞きます。

あなたは、国や自治体が、経済的支援や保育サービスの提供、仕事と子育ての両立支援といった現在の少子化対策を十分に拡充していけば、「子どもが欲しい」または「もう1人子どもが欲しい」という気持ちになると思いますか。  
次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそうは思わない

4. そうは思わない



「1」か「2」を選んだ方は 問22 へお進みください。



「3」か「4」を選んだ方は 問21 へお進みください。

問21

問20

で「3」か「4」を選んだ方にお聞きます。

あなたは、少子化対策を拡充しても、そのような気持ちにならないと思うのはどうしてですか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 自分の趣味や時間を大切にしたいから

2. 夫婦の生活を大切にしたいから

3. 親となる自信が持てないから

4. 日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから

5. 子育ての苦労ばかり目につき、子育てへの抵抗感が強いから

6. 子どもを持つことが煩わしいから

7. 夫や家族の協力が得られず、育児が大変だから

8. 人間関係が複雑になるから

9. 今の子どもの数で十分だと思うから

10. 年齢、体力的、医学的な事情があるから

11. パートナーがいない又はパートナーが子どもを欲しくないと考えているから

12. 子どもの数は少子化対策とは関係ないから

13. その他（ )

問22

**全員**にお聞きします。

行政が、結婚・出産・少子化対策に取り組む上で、どのような施策を拡充すべきと考えますか。  
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 保育料等の支援、軽減
2. 在宅育児への支援
3. 教育費等の支援、軽減
4. 育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し
5. 保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備
6. 乳幼児連れでも外出しやすい環境づくり
7. 不妊や不育症に関する相談窓口の整備や治療費助成制度の充実
8. 子どもの医療費にかかる経済的負担への支援
9. 多子世帯（子ども3人以上）に着目した子育て支援
10. 三世帯同居や近居を進めるための施策の推進
11. 若い世代へのライフプラン教育の充実
12. 若い世代の雇用や収入の安定化のための施策
13. 子育てに役立つ情報の充実（アプリ、サイトなど）
14. 結婚・出産・子育てにあたたかい社会づくり（気運の醸成）
15. その他（）

結婚・出産、少子化対策について、どのようなことでも結構ですので、ご意見をお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。